

●ガバナー 長嶺 康廣 ● 会長 吉田 立盛 ● 幹事 平光 清美 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね! 」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

## 第 2000 回 例会 記録

《クラブ年次総会及び 2000 回記念例会》

2016 年 12 月 1 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1432



## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



### 《会長要件》 吉田立盛会長



今日から 1 2 月の師走に入り、年の瀬のなにかと忙しい時にも関わらず、夜例会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

今日は私たちのクラブの第 2 0 0 0 回目という節目の例会です。この記念すべき日に会長を務めさせていただいて、大変光栄に思っております。

今日の 2 0 0 0 回記念例会では、皆様と共にこの節目を祝いたいと思い、例会時間を変更させていただきました。

私どものクラブは昭和 5 0 年の創立から、回を重ね今年で 4 2 年目を迎えています。私は現在 4 4 歳なのですが、私がまだ 2 歳でやっと歩き始めた時には、このクラブはすで奉仕活動を始めていたことを考えると、とてもながい歴史の重みを感じます。このように長きにわたり、クラブが存続し、奉仕活動を続けているのは、歴代会長のご尽力と、クラブ会員の皆様のご協力があればこそだと、心より敬意を表しますとともに、次年度会長の米内エレクトにしつかりとバトンを渡せるようにしなければならないと、気が引き締まる思いであります。

そして、今日の例会では、そういったクラブの歴史と伝統、そしてこれまでの歩みなどについて、再度皆様で語り合う時間にしたいと、ちょうど年度の年度に会長を務められた皆様に卓話をお願いしております。どんなお話が聞けるのか、楽しみにしております。

ちょっと話が変わるのですが、私が入会したのが 2 0 1 1 年の三川年度だったのですが、今年が 2 0 1 6 年ですので、ちょうど 5 年が経過しました。当時の会員数は 4 1 名。現在の会員数は 4 4 名で、当時より増えております。人口減少が騒がれる地方都市において、私たちのクラブは会員が減るところか、逆に増えているというのは、こういった理由なんだろうかと、昨晚寝ないで考えましたところ、その理由は歴代会長が行ってきたクラブの活発な親睦活動によって紡ぎだされる、クラブの雰囲気良さが

### 《出席報告》 大橋副委員長



今日は 2000 回記念例会になっています。第一回の時に会長さんは昭和 50 年生まれで 2 歳だったそうですが、西尾さんや私はまだ生まれていませんでした。本当に長いですね、3000 回、4000 回、5000 回になるように皆で盛り上げていきましょう。

あるからだという答えにたどり着きました。まあ、私の年度は夜の親睦活動が、おそろかになっておりますので、偉そうなことは言えないのですが、今日は、大いに親睦を深めながら、2 0 0 0 回の節目を皆で祝いましょう。

### 《幹事報告》 平光幹事



- ・五戸ロータリークラブより創立 50 周年記念式典及び祝賀会参加のお礼状が届いています。
- ・国際ロータリー日本室事務局より財団室ニュースが届いています。
- ・ロータリーの友委員会より事業報告が届いています。

・クリスマス家族例会のプレゼント交換の品物の準備をお願いします。

### 《ニコニコボックス》 西尾委員

吉田会長：今日は年次総会です、よろしくお祈りします。また、2000 回をみんなで祝いましょう

平光幹事：2000 回記念例会おめでとうございます。

2000 回記念例会おめでとうございます：

近藤会員、石橋会員、赤穂会員、小原会員、伊藤会員、松田会員

祝！2000 回：鈴木会員、熊谷会員

野澤会員：長い間失礼しております。ようやく 11 月 1 日より工事が始まりました。これからもよろしくお願い致します。



大澤会員：2000 回おめでとうございます。先輩会員に感謝申し上げます。

西村会員：2000 回例会の重みを感じます。

本人誕生日：野澤会員（8 月）

### 《コミュニケーション委員会》三浦晃委員長

ロータリーの友 12 月号のご案内をします。横組みの 7P に「奉仕、その後・・・」とあり色々な奉仕について書いてありますので是非お読みになってください。



### 《クラブ年次総会》平光幹事

年次総会はクラブ細則第 5 条第 1 節に書かれています通り 12 月第 1 例会に開催することになっており、第 5 条第 3 節に会員総数の 3 分の 1 をもって年次総会および例会の定足数とするとありますので本日の総会は定足数を満たしております。

### 《吉田会長》



本日の年次総会は次年度の理事役員を皆様にお諮りする場です。クラブの定款細則第 3 条にのっとり 11 月 27 日に指名委員の選挙を行いましたところ、西村会員、吉田賢治会員、伊藤会員、清川会員、久保田会員の 5 名が指名委員に選出され私と米内会長エレクトを含めた 7 名で 11 月中に 2 回の指名委員会を開き次年度の理事役員案をまとめ、理事会にお諮りし承認をいただいた次年度理事役員案を発表させていただきます。次年度会長米内会員、直前会長は私で会長エレクト西村会員、副会長伊藤会員、職業奉仕委員長久保田会員、社会奉仕委員長三浦晃会員、国際奉仕委員長大澤会員、青少年奉仕委員長野澤会員、ロータリー財団委員長熊谷会員、規定審議・クラブ細則委員長長嶺会員、幹事吉田賢治会員、会計石橋会員、SAA 清川会員、副幹事西尾会員、副会計小原会員、副 SAA 伊藤会員、以上が次年度理事役員案でございます。皆様ご承認いただけますでしょうか（拍手にて承認）ありがとうございました。

### 次年度理事役員挨拶（肩書は次年度）

#### 《米内会長》

次年度の会長を仰せつかった米内です。一生懸命やろうと思っておりますがどこまでできるか不安です。できる限り吉田現会長に負けないように頑張っていきたいと思っておりますが、私は粗忽なところがありますから皆様のお力添えをいただかないと無事一年を過ごせないと思っておりますのでどうかよろしくお願い致します。



#### 《西村会長エレクト》



まだ入会して日も浅い私が一年半後に会長をやらせていただくことに戸惑いましたし悩みましたが、いつまでもお客様気分ではいけない、お前もしっかりしろと叱咤激励の意味で指名されたのだろうと思っております。実

際ノミニーという立場となって例会に出る姿勢も変わってきたような気がします。一年半、一生懸命勉強して私の代でダメになったといわれぬように頑張りたいと思います。

### 《伊藤副会長》

副会長を仰せつかりました伊藤です。私の年度に米内さんに副会長をお願いしていろいろと助けていただきました。ご恩返しではありませんができる限りお手伝いをさせていただきますので、皆様のご協力をお願い致します。



### 《久保田職業奉仕委員長》



初めての職業奉仕を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

### 《三浦晃社会奉仕委員長》

社会奉仕委員会を担当させていただきます。皆様よろしくお願いいたします。



### 《大澤国際奉仕委員長》



国際奉仕は 4 回目か 5 回目になると思います。国際奉仕は主に南浦項との姉妹交流が中心になるかと思っておりますけれど、できる限り協力していきますのでよろしくお願い致します。

### 《野澤青少年奉仕委員長》

昔は青少年委員長と会報の委員長はやるものではないというくらい仕事の量が多かったのです。青少年はインターアクトからアクトの翼、会報は当時月報から週報変わったところで若いものが原稿を作っていました。私もロータリーに入って早 40 年になりだんだんに高齢者に入り引退しなければと思っておりますが最後のご奉仕のつもりでできる限りのお手伝いをしたいと思います。よろしくお願い致します。



### 《熊谷ロータリー財団委員長》

ロータリー財団を仰せつかった熊谷です。今年度は会計、来年度はロータリー財団とお金にまつわる役目ですが私に務まるか心配です。もう一つの心配はどんどん円安になっています。次年度になったら寄付の金額が増えるのではと心配ですので皆様今のうちに寄付をお願いします。



### 《吉田賢治幹事》

次年度幹事を仰せつかりました吉田です。たくさん先輩方に支えていただきながら頑張っていこうと思っておりますので、よろしくお願い致します。



### 《石橋会計》



たぶん6回目の会計だと思います。手慣れてはいませんが事務局がしっかりしているということで引き受けました。よろしく願いいたします。

### 《清川 SAA》

次年度 SAA として正式に頑張りたいと思います。今年も三分の一くらいはやっていると思いますが来年はもっとよくできるように精進しますので、皆様よろしく願いいたします。



### 《西尾副幹事》



副幹事を仰せつかりました西尾です。色々勉強させてもらう気持ちで、とにかく一生懸命やりたいと思います。よろしく願いいたします。

### 《小原副会計》

副会計を仰せつかりました小原です。西村会長と西尾幹事のお手伝いをしたいと思います。よろしく願いいたします。



### 《伊藤副 SAA》

副 SAA も併せて仰せつかりました。初めての SAA を楽しんでできればいいなと思っています。

### 《吉田立盛直前会長》

次年度は米内会長を助けながら頑張りたいと思います。次年度はこのメンバーで頑張りますのでよろしく願いいたします。

### 《2000 回記念例会》 吉田立盛会長

のども乾いていることでしょうし、私の話はもういいのではと思います。今日はこれから親睦を深めるように皆さん楽しみましょう。

### 《鈴木 25 代会長》



25 周年の時に会長を仰せつかっていました。今日は 2000 回ですが私が会長を仰せつかっていた時に西暦 2000 年を迎え 2000 という数字に縁があるような気がします。25 周年の時のお話はいつもしているので今日は 10 周年の時の思い出をお話しします。当時を知っている方も何人かになってしまいました。10 周年の記念式典の日が第 500 回の例会でした。その日を 500 回にした張本人が私なのです。その年は森先生が会長で高橋銘木店の高橋さんが幹事さんだったのですが、当時は今はないプログラム委員会というものがあり年間のスケジュールを決める委員会とその委員長が私で、その年度のプログラムを決めるときに記念式典の 4 月 19 日にこだわったものでして、4 月 19 日が木曜日ではなかったために前後の例会を変更することになり、

499 と 500 が並んでいることに気が付いてどうせなら 500 回を動かして記念式典を 500 回にしようと言って決めました。そんな思い出があります。セレモニーに関してはほとんど記憶がありませんが祝賀会は鮮烈な記憶があります。賛否両論あったみたいですが乾杯の発声があったとたんに仕切られていたカーテンがぱっと空いたら長横町の女性たちが大勢並んでいて、ステージ上には 10 周年おめでとうという看板を持ったバニーガール姿の女性が並んでいました。バンケットというシステムがほとんどない時代でしたのでどうやって集めたかは知りませんが、慶徳さんが祝賀会の委員長だったというような記憶があります。当時は本当に皆さん、長横町とパークホテルを往復しているような時代だったのでそんなこともできたのかなと思っています。

### 《第 30 代大澤会長》

今日は例会に早めに来たところ吉田会長からお話をしてくださいと言われました。今日は 2000 回記念ということなのでクラブの歴史をお話するのにふさわしい方がたくさんいらっしゃいますが、30 代の会長ということでお話をいたします。私は入会が昭和 63 年です。ですから 30 年までは行きませんがもう 28、9 年になりますので古いほうになりました。30 代の会長として 30 周年の記念式典に臨みいろんな記念事業を行いました。当時の実行委員長は橋本精二さんでした。橋本さんは 20 代の会長さんで、いつの間にか暗黙の了解ができていて 20 代の会長をやった人が 30 代の実行委員長、30 代の会長が 40 代の実行委員長ということで私は榊さんの年度に実行委員長をやりました。前もって準備をしていけばいろいろ資料を見てお話ができたのですが、印象に残っていることをお話しします。一年位前から準備を始めたわけですが実行委員長の橋本さんと、私と当時幹事をやっていた加藤さんの 3 人で準備を進めました。大勢集まったわけではなく 3 人で頻りに集まってやりましたがかえって良かったのかなと、沢山の人が集まって準備をすると話が分散して、船頭多くして船山に上るではありませんが…。楽しみだったのは第 2 ワシントンホテルに 3 人で集まるのですが、行くたびに橋本さんがとっておきの酒を出してくれるのです。私は酒のみなものですから、今日は何の酒が飲めるのかなと楽しみにしながら準備をしました。メインの記念事業はガーディアンエンジェルスという NPO 法人の小田理事長さんからお話ししていただきました。面白いお話でしたが詳しい話はする時間がありませんが、基調講演をしていただいた後にパネルディスカッションをしました。小田さんに加わっていただき、八戸市の生活安全課の課長さん、小学校校長会の会長さん、防犯協会関係の坂本市議員さんなどに入っていて「安全・安心・まちづくり」というテーマでした。もともとガーディアンエンジェルスというのはアメリカの団体で、アメリカでは地下鉄での犯罪が非常に多く地下鉄の中は落書きだらけだったらしいのですが、それを消すところから始まった運動で、落書



きをきれいに消したら犯罪が減ったということです。アメリカでその活動に出会い日本に帰ってその活動を広められたというお話でした。詳しい内容は記録誌にしましたので保存してあると思います。ロータリーの友がどこから聞いたのかわかりませんが保存しておきたいので是非送ってくれということで送りましたので、ロータリーの友の方でも保存されています。今にして思うと、自画自賛ではありませんが、良い記念事業だったなと思っています。今日は 2000 回ということですが、一口に言っても非常に長い歴史があります。これは先輩会員の皆さんの地道な活動の積み重ねのお陰だと思っています。後の世代の皆さんも引き継いでさらに発展させてくれれば良いなと思っています。

### 《第 35 代三浦会長》



35 周年年度会長の三浦晃です。まず、本日は皆様に本来の会長から言われた以外の話に触れたいと思います。この東洋経済という本に書かれていることをお話しします。

「IOT発信!」IOTとは「INTERNET OF THINGS」インターネットオブスイングスと読んでいますが、鉄腕アトムやドラえものの時代に入り込んだみたいで驚いています。

「IOTと人類の未来、170 兆円市場の衝撃 膨らむ夢と未来」私の持参したこの週刊誌、東洋経済 2016 年 9 月 17 日発売の本には、ソフトバンクが 3.3 兆円で買収したと書かれています。

「コンピューターの申し子が語る」英ARM創業者ヘルマン・ハウザーの話として「IOTは市場最大のデジタル革命だ」と書かれています。ARMはさまざまな分野で抜群の存在感を放っており、スマートフォンと車載情報機器では 95 パーセントのシェア、ウェアラブルやストレージ（外部記憶装置）では 90 パーセントのシェアがあります。インテルという会社は皆さん知っていると思います。「インテル、入ってる」というのを聞いたことがあると思いますが、パソコンの中に入っています。でもインテルに比べ、ARM(ベースのチップ)は約 10 倍出荷されています。

IOTの世界をちょっと紹介したいと思います。『生活』の分野では・消費やモノがカスタマイズされる・医者による処方が必要なくなる・分身を通じて買い物を楽しむ・服が意志をもって支持を出す、など『仕事』の分野では・業務や移動を大幅に効率化できる・通勤の無駄な時間が無くなる・専用の端末画面が常に登場・建設現場で機械たちが賢く働く、というようなことがIOTの仕事面です。この本の中に詳しいことが書いてありますので読みたい方は、お貸ししますので声をかけてください。

### 《第 40 代榎会長》

私が 40 代の会長になったのは石橋さんのお陰です。ことあるごとに耳元で 40 代の会長というのはなりたくてもなれるものではないと囁き続けられ、目が合うたびに口説かれました。ロータリークラブに

入ったのは三川会員に誘われたのがきっかけです。丁度そのころいろいろな役職から離れ人恋しくなっていた時でしたので二つ返事で入会しました。そんないきさつから三川年度では幹事をしたのですが、その時に知り合ったのが直前会長の伊藤さんでした。私が幹事で伊藤さんが会計で良く集まって打合せをしました。私が会長の時には伊藤さんに幹事をやっていただきました。三川年度で幹事を引き受ける事になったときに、幹事の仕事について自信がなかったものですから三川会長に迷惑をかけてはいけないと当時の幹事だった平光さん、直前の幹事だった熊谷さんをお願いして、伊藤さんを含めて勉強会をしました。勉強会の後はカラオケに行きましたがいつのまにかカラオケに行くほうが楽しみになりました。その時にいい仲間ができて今に至っています。40 周年の時には大澤 30 代会長に実行委員長をやっていただきました。流れの中で私は会長の挨拶をやるだけでいいかなと思いましたが、その挨拶も直前までなかなかまとまらず苦勞しました。記念講演には南クラブの交換留学生だったメラニーさんをお招きしました。東京にあるメラニーさんの事務所にはお願いに上がりましたが、実行委員長の大澤さん、実務の伊藤さん初め皆さんにお世話になって今に至るということで、名前だけが 40 代の会長で実質何もやっていなかったことを今改めて皆さんにご報告したいと思います。これから次期の会長さんそれぞれ選ばれていくわけですが、ブレンになる人たちを作っていくわけではなく、自分をさらけ出してお付き合いをする中で人のつながりが出てくるのだらうと思います。まだ会長をやられていない方、年代によって何代とつきませんが会長をやるにあたって是非ブレンなる方を作ることをお勧めします。これから 45 代、50 代と節目の会長をなさる方もいらっしゃると思いますがこの節目にできるということは非常にありがたいことだと思います。私がいまだに非常に有り難かったことは石橋一男さんに「なれよ」と言われ続けたことです。「なりたくてもなれるものじゃないよ」という囁きがいまだに耳に残っています。本当にありがとうございました。

